

副市長、教育長が就退任

3月1日、鹿屋市の第2代副市長に中野実氏が選任されました。また、2月16日に開催された市教育委員会の臨時教育委員会において、鹿屋市の第2代教育長に宮下昭廣氏が互選されました。任期はいずれも4年間です。



前副市長 にしその たくみ 西園 琢巳 氏

(70歳)が退任

任期満了に伴い、西園琢巳副市長が2月22日付けで退任しました。

【略歴】

西園氏は、昭和35年に鹿屋市役所に入り、企画課長、商工水産観光課長、産業経済部長、企画部長を歴任。その後、平成11年9月から2期、6年4か月の間、旧鹿屋市の助役を務め、合併後、平成18年2月から1期4年間、新鹿屋市の初代副市長として、長年の知識と経験を生かし、市政発展にご尽力いただきました。



新副市長に

なかの みのる

中野 実 氏 (61歳)が就任

西園氏の退任に伴い、中野実氏が3月1日付けで第2代副市長に就任しました。

【略歴】

中野氏は、昭和46年に県職員となり、中小企業課長、税務課長、商工政策課長、商工労働部次長、大島支庁長を歴任。任期は4年



前教育長 しんみょうす かつや 新名主 勝哉 氏

(69歳)が退任

任期満了に伴い、新名主勝哉教育長が2月15日付けで退任しました。

【略歴】

新名主氏は、昭和38年に県教職員となり、加治木中学校校長、県教育庁肝属教育事務所長、緑丘中学校校長、県教育庁学校教育課指導監、伊敷中学校校長を歴任。その後、平成13年4月から2期4年9か月の間、旧鹿屋市の教育長を務め、合併後、平成18年2月から1期4年間、新鹿屋市の初代教育長として、長年の知識と経験を生かし、市教育行政の発展にご尽力いただきました。



新教育長に

みやした あきひろ

宮下 昭廣 氏 (62歳)が就任

新名主氏の退任に伴い、宮下昭廣氏が2月16日付けで第2代教育長に就任しました。

【略歴】

宮下氏は、昭和45年に県教職員となり、榕城小学校校長、県教育庁教職員課調整監、西紫原小学校校長を歴任。その後は、鹿児島市中央公民館長を務め、その間、文部科学省第三者評価ガイドライン策定評価委員などを歴任。任期は4年